

文化財建造物は・・・中空構造で生き残る

文化財建造物を健全に維持管理し、次世代へ継承していくためには、
歴史と風土から成る**文化と近代技術文明の共存**も必要であろう。



錦帯橋 1674-1951-2001-2005



山口県警察体育館(武徳殿) 1930

日本の中空均衡型モデルでは、**相対立するものや矛盾するものを
敢えて排除せず、共存しうる可能性をもつ**のである。(松岡正剛)

・日本の家は、強力な**母性原理**によって支えられている。母性原理とは、**すべてのものを平等に包含すること**で、そこでは**個性ということを犠牲にしても全体の平衡状態の維持**に努力が払われる。

(核家族化一家出の失敗)

・・・日本人の意識革命の原動力は「女・子供」たちであろう。

・西洋の家は、父親は**父性原理**に支えられ、社会に対しても独自の規範をもって抗するだけの強さを持ち、それによって家族に接している。このような家庭内教育によって子供たちは近代的自我の形成を成し遂げ、親から自立して核家族を作りあげることが可能となる。つまり、**核家族** という形態は父性原理に基づく構造に支えられて維持されている。

・**伝統と現代科学文明をどのように結びつけたのか。**
・・・日本の場合は、母性優位の人間関係を親族内に閉じこめておかず、むしろ**社会組織に拡大する機構**をもっていたため、近代的なものを受け入れるのが容易であった。

(「イエモト制」、「永遠の少年」型の文化)

文化

文明

引用資料

当ホームページ LINKS

「ヘリテージマネージャー講演資料」

